

草川鉄工株式会社



2024 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2024 年1月1日～ 2024 年12月31日)



作成日: 2025年1月31日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	6-8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	9



□ごあいさつ

弊社は1200度以上の高温に加熱したハガネに機械にて大きな力を加えて所定の形状に成形する鍛造業を八尾市で営んでおります。鍛造は形状を変えることにより鋼材の歩留まりが向上するのはもちろんですが、製品の強度も高めることができ非常にLCAに優れた塑性加工法です。弊社はその鍛造を中心に今後もメイドインジャパンの誇りを胸に社業に邁進してまいります。

環境経営方針

<環境経営理念>

熱間鍛造とは1200度の高温に熱せられた鋼に大きな力を加えて成形する塑性加工法であり、電力・ガスをはじめとし、大量のエネルギーを消費致します。今後企業を発展・継続させ地域社会と共生していくために、企業活動で生じる環境への負荷を低減すべく、環境マネジメントシステムを構築し全社一丸となって環境経営の継続的改善に努めてまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1．環境関連の法令等の遵守
- 2．工場における省エネ、省資源を推進し工場全体でのCO₂総排出量の削減
- 3．廃棄物の削減
- 4．水使用量の削減
- 5．環境に配慮した生産活動

制定日：2020年4月20日

草川鉄工 株式会社

代表取締役 五十嵐 宏明

□組織の概要

更新日：2025年1月22日

(1) 名称及び代表者名

草川鉄工株式会社

代表取締役 五十嵐 宏明

(2) 所在地

本 社 大阪府八尾市老原8丁目79番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 技術・営業グループ 前田 光夫

TEL：072-922-7165

担当者 営業グループ 益富 冬馬

TEL：072-922-7165

(4) 事業内容

鍛工品の製造

(5) 事業の規模

生産重量 3,197 t

従業員	34	名
延べ床面積	2508	m ²

(6) 事業年度

1 月 1 日 ～ 12 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 草川鉄工株式会社

対象事業所： 本 社

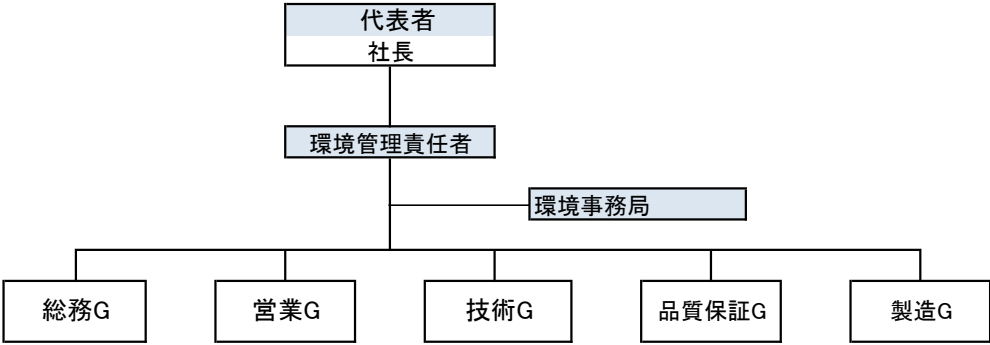
活動： 鍛工品の製造

□事業や製品(商品)の紹介

当社は1914年(大正3年)の創業以来、100年以上の長きにわたりものづくりに情熱を注ぎ型打ち鍛造・自由鍛造及び機械加工品の製造をしてまいりました。
型打鍛造と自由鍛造の両方の工法を駆使し、数100gから数10Kgの型打鍛造品、数Kgから数tonまでの自由鍛造品と非常に幅広い鍛工品を製造しております。
また鍛造だけではなく機械加工、各種検査まで対応、ニーズに合致した製品・品質を実現できる体制を構築しお客様に継続的な満足と感動をお届けできる企業を目指します。



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付） ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
グループ長	・自グループにおける環境経営方針の周知 ・自グループの従業員に対する教育訓練の実施 ・自グループに関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自グループに必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自グループの想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自グループの問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	1,190,980	1,189,079	1,142,010
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	トン	1.14	1.10	1.14
産業廃棄物排出量	トン	16.9	13.1	9.1
水使用量	m ³	1,796	2,031	1,882

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO2/kWh 関西電力調整後の排出係数（2019年度）

□環境経営目標及びその実績

年 度		基準値	2024年		評 価	2025年	2026年
項 目		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による 二酸化炭素削減	kg-CO2	773,447	757,978	718,206	○	750,244	742,509
	基準年度比	2021年	98%	93%		97%	96%
	*原単位 kWh/t	655.145	642.042	706.377	×	635.490	628.939
都市ガスによる 二酸化炭素削減	kg-CO2	362,670	355,416	373,884	×	351,790	348,163
	基準年度比	2021年	98%	103%		97%	96%
	*原単位 m ³ /t	42.659	41.806	51.064	×	41.379	40.953
自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO2	54,864	53,767	49,920	○	53,218	52,669
	基準年度比	2021年	98%	91%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	1,190,980	1,167,161	1,142,010	○	1,155,251	1,143,341
一般廃棄物の削減	kg	1,139	1,104.8	1,138	×	1,093	1,082
	基準年度比	2021年	97%	100%		96%	95%
産業廃棄物の削減	t	17	17	9	○	17	17
	基準年度比	2021年	97%	52%		96%	95%
水道水の削減	m ³	1,796	1,760	1,882	×	1,742	1,724
	基準年度比	2021年	98%	105%		97%	96%
環境に配慮した生産活動 不良率の低減	%	0.07	0.07	0.05	○	0.06	0.05
	基準年度比	2021年	0%	74%		88%	74%

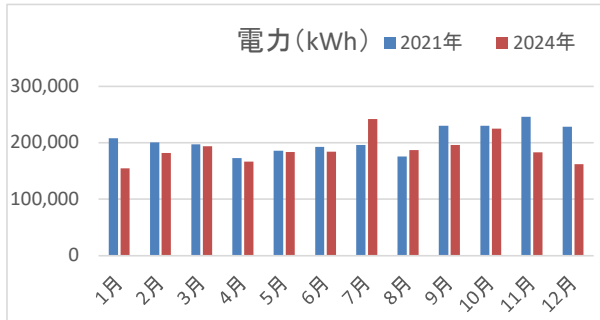
*原単位は生産重量当たりのエネルギー使用量 *従来金属くずを廃棄物に含めていたが、2023年以降有価物による売却は産業廃棄物としない

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標: ○達成 ×未達成

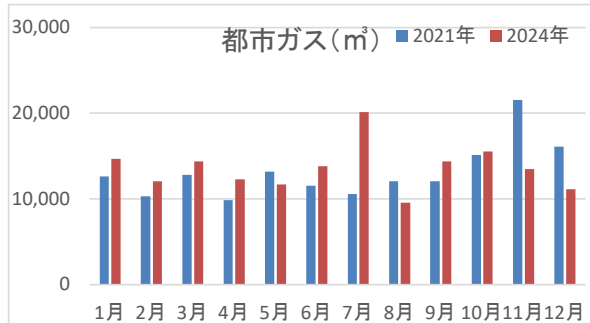
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	酷暑時の空調使用が増えるなどのリスクはあるものの不要照明の消灯といった地道な活動の継続、圧縮空気の圧力削減やチョコ停削減による稼働率の向上といった生産工程での電力の削減を継続して行うことにより累計での目標を達成することができた。次年度もこの方針での削減活動を継続していきたい
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・不要照明の消灯	○	
・空気圧縮機設定圧低下による省エネ	○	



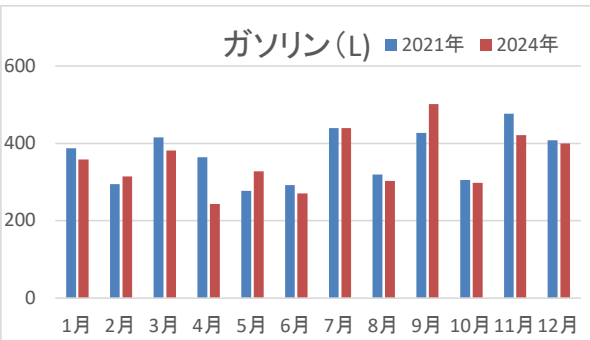
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	208,412	200,615	197,446	172,532	185,991	192,391	196,044	175,532	229,934	229,934	246,113	228,467
2024年	154,440	181,982	193,739	166,803	183,577	184,135	241,828	186,881	195,739	224,829	182,963	161,594

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	加熱に時間を要する製品の受注量増加傾向にあるものの次年度以降は少しでも効率良い加熱ができるよう炉に投入する材料の組み合わせを工夫するなどして改善していきたい
ガス炉(2台)の効率稼働によるガス使用量の削減	×	
シャワーのみによるガスの削減	○	

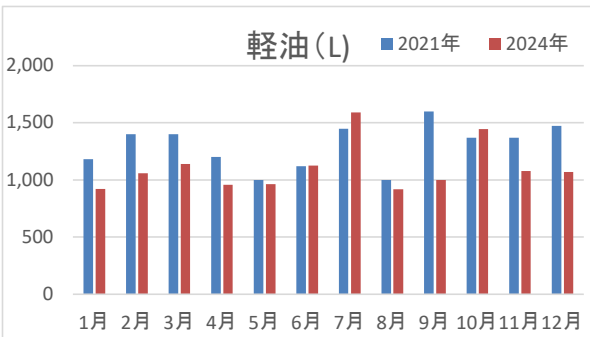


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	12,634	10,328	12,804	9,875	13,192	11,521	10,580	12,085	12,085	15,143	21,534	16,103
2024年	14,672	12,094	14,392	12,269	11,715	13,844	20,133	9,549	14,390	15,554	13,500	11,156

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	アイドリングストップなど地道な活動により月次では未達はあるものの累計では継続して目標達成できた。また社有車を1台ハイブリット車に変更することにより更なるガソリン使用料の削減につながった
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	×	

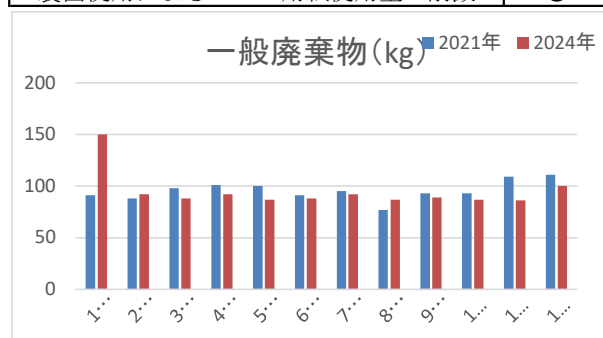


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	388	294	416	364	278	292	440	320	427	305	477	408
2024年	358	315	382	244	328	271	439	303	501	298	421	399



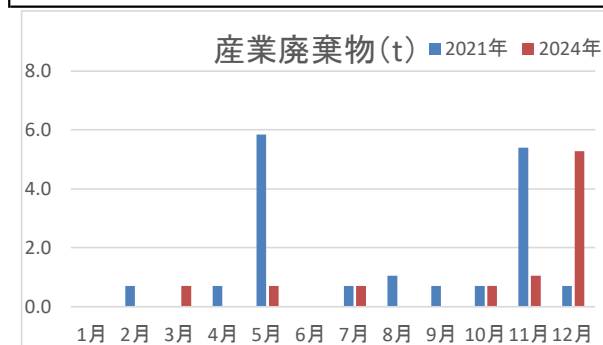
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	1,180	1,400	1,400	1,200	1,000	1,120	1,450	1,000	1,600	1,370	1,370	1,474
2024年	923	1,059	1,140	957	964	1,124	1,591	917	1,001	1,445	1,079	1,072

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	月次では目標達成できている月もあるものの累計ではまったく未達であった。次年度は目標達成できるようにIT化・ペーパーレス化を積極的に進めていきたい
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・裏面使用によるコピー用紙使用量の削減	○	



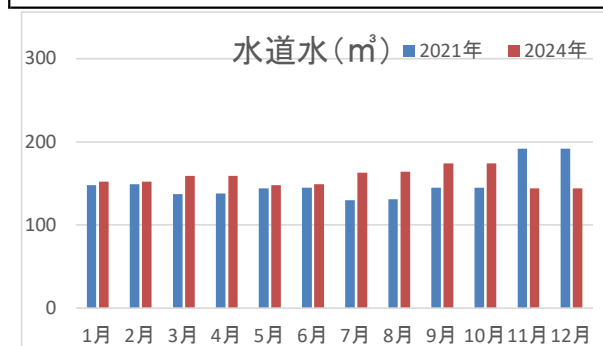
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	91	88	98	101	100	91	95	77	93	93	109	111
2024年	150	92	88	92	87	88	92	87	89	87	86	100

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	梱包材の使用量削減・効率化等の活動により月次では若干に未達があったものの累計では目標を達成することができ、本活動の有効性が確認できた。次年度以降も継続して産業廃棄物の削減に努めていきたい
・梱包材の使用量削減・効率化	×	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	0.0	0.7	0.0	0.7	5.8	0.0	0.7	1.1	0.7	0.7	5.4	0.7
2024年	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0.7	1.1	5.3

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	生産量の増加に伴い製造設備に使用する冷却水の使用量が増加、節水・風呂の使用停期間の設定など実施しているものの累計で目標未達となってしまった。生産設備の冷却水については削減が難しいが節水については意識を含め継続し使用料の削減につなげたい
・節水の意識付け	△	
・シャワーのみの期間を延長し水使用量の削減	○	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年	148	149	137	138	144	145	130	131	145	145	192	192
2024年	152	152	159	159	148	149	163	164	174	174	144	144

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	各ラインごとに目標を設定し、毎月振り返りを実施することにより10月以外のすべての月で目標を達成できた。次年度も新たな目標を設定し同様の方法にて改善を進めていきたい
・不良率低減	○	
・稼働率向上	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）
騒音規制法	空気圧縮機、切断設備
振動規制法	鍛造設備、空気圧縮機
消防法（危険物）	危険物の保管、一般危険物取扱所・少量危険物貯蔵所
フロン排出抑制法	業務用空調機の廃棄・定期点検・フロンの適正回収
自動車NOx・PM法	1，4ナンバーのトラック、バン
大気汚染防止法	切断施設、研磨施設、金属加熱炉
公害防止組織整備法	騒音・振動関係の公害防止統括者及び管理者の設置（鍛造機及び機械プレス）
プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律	廃プラの排出抑制（リサイクル化の推進）
顧客要求事項	グリーン調達基準（RoHS・REACH規制等）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

工場内の内装に吸音板を施工し防音効果を高めている

ハンマーに防振設備を施工し防振効果を高めている

現状、顧客・サプライヤー・近隣施設・近隣住民含め苦情・要望等は無し

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 緊急時の連絡（初動再確認）	
■実施日： 2024年1月6日	■実施場所：会議室
■参加者： スタッフ	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☐ 避難訓練 連絡網の再点検を実施し様々なシチュエーションから初動の再確認を行った	
■評価：	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
災害時の連絡網を再点検。ネットワークの構築や連絡文等の意識共有をした。 不測の事態でも円滑なコミュニケーションネットワークを構築できる様訓練した	
■実施状況の様子	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2025年1月22日

環境意識の徹底・エコカーへの買い替えなどで目標達成できている項目もあるが、生産量の増加によるCO2排出量の増加・生産ロット変更による原単位での目標未達といったところについては生産性の改善はもちろんのこと、将来的には様々な情報を積極的に入手しより効率の高い設備への更新も検討すべき課題である。廃棄物については現状の活動の継続と廃紙の削減にもつながる業務の効率化・IT化によるペーパーレス化については今後できるところから順次進めていきたい

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり